

# 会 議 録

## 1 会議名

平成 28 年度第 4 回諏訪区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### (1) 地域活動支援事業について（公開）

①2 次募集の確認について（公開）

②平成 28 年度の審査・採択等に関する課題や問題点の洗い出し（公開）

### (2) 自主的審議につなげるための諏訪区の現状分析について（公開）

①自主的審議のこれまでの経緯について（公開）

②今年度のスケジュールについて（公開）

## 3 開催日時

平成 28 年 8 月 3 日（水） 午後 7 時から午後 8 時 40 分まで

## 4 開催場所

諏訪地区公民館 集会室

## 5 傍聴人の数

なし

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委 員：石黒太一、内山恵悟、内山松男、川上奈津子、川上久雄（副会長）

滝沢隆行、武田輝夫、西嶋明子、星野一巳（会長）、松縄節子

山岸 愛、山岸一之

・事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、野口係長、小林主事

## 8 発言の内容

### 【野口係長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

**【星野会長】**

- ・挨拶
- ・会議録の確認：川上奈津子委員に依頼  
「議題（1）地域活動支援事業について」の「①2次募集の確認について」事務局に説明を求める。

**【野口係長】**

- ・資料No.1により説明

**【星野会長】**

今の説明に質疑を求めたがないので、次に補助率と採択方針、事業の流れについて意見を求める。

**【内山松男委員】**

ご提案されている内容でよいと思う。

**【星野会長】**

事務局提案どおりでよいとの意見があったが、よいか。

（「意義なし」の声）

9月15日から30日で2次募集を行うので、委員の皆さんからも周知をお願いします。「②平成28年度の審査・採択等に関する課題や問題点等の洗い出し」について、委員の皆さんが地域活動支援事業の審査・採択の際に疑問を持たれたり、改善が必要だと思ったことをフリートーク形式でしていただきたい。

—フリートーク開始—

- フリートークの概要は下記のとおり

**【AEDの助成事業について】**

- ・今回は10の提案事業があったが、9つの事業はスムーズに採択されたと思うが、最後のAEDではかなり時間を費やしたと思う。皆さんも活発に意見を出していただき、色々感じられたと思うが、来年度に活かしていければよいと思う。
- ・防災士会からの提案では、きちんと組織に対して合意を得てから提案を出すのが本来のかたちだと思う。来年度は中身で良い悪いがあれば、その場で話し合っ

助成額を調整していけばよいと思う。

- ・ AED が一番引っ掛かっているが、事前に提案団体内で意思統一をしていただかないと困る。来年度に向けて徹底していかなければいけない。
- ・ AED は今の時代に必要なものだと思ったが、提案者にも色々な面でもう少し勉強してから提案して欲しかった。また、我々も信念を持つことも必要だと思った。採択後に、町内会長を含めた防災士会との会議でも、委員は何をやっているのか、もう少し皆さんの意見を聞いて採択したのかと、厳しい意見を言われた。

### 【提案の事前調整】

- ・ できれば、次回は各提案団体を集めて、提案内容の調整をした方がよいのではないかなと思う。毎回提案が出てくる団体は決まっています、あまりにも一部に偏っているような気がするので、老人会や交通安全関係の団体等も参加して、支援を受けたらよいかどうかも含めて検討していただければ諏訪区全体にはよいのかなと思う。
- ・ 広範囲な周知については 100 パーセント完璧にはなかなか難しいと思う。色々な分野で色々な方が少しずつ参加できることが“全体”だと捉えればよいと思う。把握できる範囲で団体に直接郵送するのも、多くの団体に応募してもらえる方法かもしれない。
- ・ 確かに、活発に提案を出してもらっているところと、あまり事業提案の経験のない組織や団体については出しづらかったり、どのように出したらよいか分からないところもあると思う。色々な団体に声を掛けて、事前に意見調整会みたいなものを開けば、もうちょっとスムーズに提案が出てくると思う。

### 【採点方法】

- ・ 点数が当てはまらない項目があっても、点数の付け方がどうにかならないかと思いき苦労した。例えば、「参加性」が諏訪地区全体のものと、特定のものに当てはまるものがある。「発展性」は事業によってはなかなか認められないものもあった。
- ・ 例えば「唱歌諏訪ナツメロ教室」は皆さんで歌うのはよいが、他の所に視察に行くというのはしなくてよいのではないかという意見もあったと思う。その場合に、「発展性」がどうなのかということもあるかと思う。事業の内容の 9 割はよいが、1 割はどうかということで、全体でどこに重点を置いて評価をしたらよいか悩むと

ころもあったと思う。

- ・採点の度にそう思っていた。ナツメロを歌うのはよいが、視察は行かなくてもよいとか、諏訪の里づくり活動事業で体操を30回も行うが、回数はそんなにしないでよいなどあると思う。
- ・採点については、私は非常にやりやすかったと思う。
- ・厳しい意見も真摯に受けとめなければいけない。提案された方は、当然協議をした上で提出されていると思うが、ほとんど独善的にやってきたのだと思う。今回の反省材料になればよいと思う。
- ・時間がない中でヒアリングして採点するのだが、1事業ずつ委員同士で相談して採択したらどうかと思う。また、採択が決まっていなのに、事業が完了しているものがあつたが、それはよいのか。事業がすでに終わっていると、×印も付けられなかったので、どうなのかと思った。
- ・提案書を事務局が受け付けた日より後なら、事業を開始することはできる。ただ不採択になった場合は自己責任で支払いをしてもらえばよいのだ。提案者や事業の都合もあるので、採択前の着手は問題ない。
- ・採点に関しては、事前に意見を言い合うのはよいが、各委員の意見での採点が必要だと思う。
- ・「すわっ子サマークラブ」という自分が係わるるところから提案もさせてもらっているので、採点する側と両方の立場を経験させてもらった。採択は、「発展性」や「参加性」等の項目立てがされていて、基準がはっきりしていて分かりやすく良かった。「すわっ子サマークラブ」は主に子どもたちが参加するが、中学生や保護者や地域の方も参加してくれるので、自分の中では納得して採点ができた。

#### **【外に発信する提案事業、必要な提案事業】**

- ・他区は地区以外の人たちが、芸能祭やイベントを、地区のためと、他区などからお客さんが来るようなイベントを行っている。諏訪区は、外に向かっていないとか、諏訪区だけが楽しければよいような感じがする。他区の人に来てくれるようなイベントを企画してくれる団体に、もう少し補助金を使えるようにアナウンスをしたり、今ある事業に取り入れてくれるような環境があると、もっと素敵だと思う。諏訪夏祭りも外からお客さんが来るようなことをしていないが、高士

区の雪まつりも楽しそうだし、他の地区の人は外に向けてお客さんを集めるようなことをしているのだと思った。

- ・10 提案の中で、農業振興事業、交通安全防犯事業などの地区全体のために使われている事業が少ないと感じた。農業振興が優先されるような事業提案があるとよいと思った。

—フリートーク終了—

【星野会長】

地域活動支援事業の振り返りのフリートークはこれで終了する。

「(2) 自主的審議につなげるための諏訪区の現状分析について」に入る。事務局に説明を求める。

【野口係長】

- ・資料No.2、No.3、No.4、参考資料により説明

【星野会長】

今の説明に質疑を求めたが、ないので、私から今までのことを説明する。

資料No.2 にまとめてあるとおりが、まずは現状把握が必要だということで、諏訪区の強みや弱みを紙に書いていき、何が必要で、どのようにしていったらよいかということを書き出した。

ステップ2で、畑等の遊休地があるので、市民農園にして貸し出したらどうかということになり、市の担当課に説明してもらった。

また、諏訪区もこれまで市街化調整区域だったところが緩和され、家を建てられるようになり、転入者を増やす取組はどうすればよいかという話し合いもした。

ステップ3で、就任から2年目以降は、他の取組の視察に行った。また実際に住んでいる方はどう思っているのかということで、「諏訪の未来を考える懇談会」を開いたが、尻つぼみになってしまった。

ステップ4で、中学生以上の全員を対象としたアンケートをした結果、諏訪区では皆で楽しめるものがないということで、地域活動支援事業を活用して諏訪の夏祭りを20年ぶりに復活させた経過もある。

そのような感じで諏訪区では何が問題で、どういうふうにしたらよいかを自主審議の中でやっていきたいと思う。今期の協議会委員で何を課題にしてやっていく

か、皆さんと考えたいと思う。意見を求める。

#### 【松縄委員】

前期の委員と話していたが、上越魚沼地域振興快速道路が出来て、諏訪区の鶴町がインターになるというので、道の駅で特産物を作って売ったらどうかという話をした。牧区ではクリスマスイルミネーションの点灯があるので、諏訪区でもやりたいと話を進めたりしている。夢を持つようなことを協議したいと思う。

ステップ3で、地域の皆さんと情報共有するということで、ホームページの話が出たことから、これも地域活動支援事業を活用してホームページを立ち上げ、今日に至っている。ホームページで諏訪を色々なところに紹介し発信するのが、私の夢だ。

#### 【内山恵悟委員】

二貫寺の森は、広いしキャンプもできるので、若者の集まりができればよいと考えている。

#### 【星野会長】

二貫寺の森は、諏訪の中で誇れるものの一つだ。諏訪は自然が非常に豊かなところで、二貫寺の森には色々な昆虫や樹木があることから、上越教育大学の先生を迎えて年に数回、探索会をやっている。諏訪地区の魅力を発信できる場所だと思うので、そこで色々なイベントをできたらよいと思う。やるためには制限があるので、市の担当者から来てもらって説明を受けるのもよいとも思う。

資料No.2以外にも、こういうものをやったらどうかという意見があれば、是非お願いしたい。

#### 【内山松男委員】

地区をPRするというのを色々しているが、継続していける期間は継続して、プラスにできればよいと思う。

最初は小学校の児童が減ってきて、その危機をどのようにするかと取り組んでいるものの年々減り続けている。そう考えると、地域の人口を増やすために、できることを“考える”よりも、できることを“進めていく”ことが大切だと思う。土地や空き家も大切だが、まずは地主が提供してくれるかどうかも課題で、解決には時間が掛かる。そこで、今年か来年あたりに、諏訪の自然の中で学びたいという

親御さんがいたら、その後諏訪に住み続けたいくなるかもしれないので、通学範囲を全市に拡大するような“学校の特区”を上越市に挙げたらどうか。

**【藤縄委員】**

この特区とは、学校区の枠を外したかたちになるのか。

**【内山松男委員】**

上越市の中で特区に認定されれば、学区が拡大されて希望があれば諏訪小学校に入れるようになる。妙高市では既にやられているような噂を聞いたことがある。小学校の児童が30人以内になると、学校統合の可能性が高いと聞いている。できることからやった方がよいと思う。

**【星野会長】**

学校側も前向きに考えていただいているということで、今後どうなっていくのか興味があるところだ。これは、協議会が検討する課題でもあるかと思う。これは今後の自主的審議の参考にさせていただく。

次に「②今年度のスケジュールについて」事務局に説明を求める。

**【野口係長】**

- ・資料No.4により説明

**【星野会長】**

今の説明について質疑や提案等、フリートーク形式で行う。次回以降の会議で、今回のフリートークの内容を案に反映させてより具体化していく。

**—フリートーク開始—**

- フリートークの概要は下記のとおり

**【研修・自主的審議】**

- ・平成25・26・27年度に市外・県外に研修に出ているが、自主審議の課題を決めていくためにも、色々な情報を得なければいけない。自主的審議を進めるためにも、諏訪と同程度の先行している地域協議会に地域の意見を聞かせていただくなどしたり、講師を招いて上越市の現状を聞いたりできるような研修にすればよいと思う。
- ・諏訪地区は愛されていると思う。自主的審議で何をするかは、これだというのは言えないし、今まで出ている意見は最なことだが、やるとなると大変だと思う。

少しずつ結び付けて、“今できること”が大事だと思う。

- ・意見交換会はとてもよいことだが、こういう所で意見を言える人を集めるのは難しい。また、自分の思っていることを口にするのも難しいと思う。例えば同世代で話し合っ、誰かがそれを皆の前で発表できるような環境をつくったらどうか。意見交換会自体のあり方について、話合う機会があればよいと思う。年配の皆さんの前で、思っても言えないことも多いと思うし、せっかく参加しても聞くだけで終わってしまうのかとも思う。まず、そういうことをどうすべきかを考えたらよいと思う。

—フリートーク終了—

【星野会長】

これで、フリートークを終わる。

意見交換会は特定の方にしか集まってもらえなかったのも、いろんな世代から意見を吸い寄せようということでもアンケートを採ったのだが、この結果からは、色々な意見や世代がいることが分かる。これを今後どのように活用していくかが大切だと思う。

年間スケジュールで、意見交換会の準備が11月からになっているが、意見交換会自体のあり方を再考し、やり方をもう少し考えた方がよいのかと思った。

いきなりバスで研修に行くのも、時期尚早とも思う。その前に何が問題かを皆で話し合っ、解決策の糸口として他の地区ではどうしているのか次年度以降にやったらよいと思う。まず、今年度は資料を集めたり、研修を積んで、来年度以降に先進地域を研修するような感じでいかにかと思う。

研修内容の協議は8月に予定しているが、地域住民との意見交換は次回以降の検討事項に入れさせていただく。上手く行く方法や意見を出していただけるにはどうしたらよいか、皆さんで検討していきたいと思う。

大まかなスケジュールでは、資料のとおりとしてよいか。

(「よい」の反応)

その他、事務連絡があれば事務局に説明を求める。

【野口係長】

- ・次回会議の内容等について説明

【星野会長】



- ・次回の協議会：9月5日（月）午後7時から 諏訪地区公民館
- ・会議の閉会を宣言

## 9 問合せ先

自治・市民環境部自治・地域振興課中部まちづくりセンター

TEL：025-526-5111（内線1449、1547）

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。